

1. 件 名：東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所及び  
福島第二原子力発電所の原子力事業者防災訓練に関する意見交  
換について

2. 日 時：令和5年10月5日（木）10時00分～11時45分

3. 場 所：原子力規制庁3階 緊急事案対策室 執務室

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

嶋崎専門官、澤村専門官、酒井専門職

福島第一原子力規制事務所

高野専門官、宮本専門官

福島第二原子力規制事務所

中野専門官

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 防災安全グループ マネージャー 他10名

東北電力株式会社（訓練評価担当社）

原子力部 副長 他5名

九州電力株式会社（訓練評価担当社）

原子力発電本部 原子力防災担当次長 他3名

電源開発株式会社（訓練評価担当社）

原子力技術部 運営基盤室 運用技術基盤タスク 総括マネージャー  
他3名

北海道電力株式会社

原子力事業統括部 原子力業務グループ 主幹 他2名

中部電力株式会社

本店 原子力部 防災・核物質防護グループ 課長 他2名

北陸電力株式会社

原子力部原子力防災チーム 副課長

中国電力株式会社

電源事業本部（原子力運営グループ）担当

四国電力株式会社

原子力本部 総括グループ 副リーダー

日本原子力発電株式会社

発電管理室 警備・防災グループ 副主任 他1名

## 5. 要 旨

東京電力ホールディングス株式会社（以下「東電 HD」という。）から、令和 5 年 9 月 1 日に実施した同社福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所における原子力事業者防災訓練で評価を担当した各社に対し、当該訓練で確認された課題、原因及び対策並びに良好事例について、社内・社外評価結果からまとめた資料 1 に基づき説明があり、原子力規制庁はオブザーバーとして参加した。

東電 HD 及び参加各社の間で活発な意見交換が行われ、原子力規制庁からは以下についてコメントし、東電 HD から本日の意見交換を踏まえ訓練結果報告書にまとめる旨の回答があった。

- ・複数の事象が生起し、ERC プラント班にそれらの情報を伝達する際には、ERC プラント班長が飽和しないよう、状況に応じ優先度を考慮した上で、TV 会議発話、FAX 送付及びリエゾン経由伝達を適切に併用すること。

## 6. その他

配布資料：

資料 1 2023 年度 福島第一・福島第二原子力発電所緊急時演習における課題等について（東京電力ホールディングス株式会社）